



東日本大震災からの復旧状況と 木材産業を巡る最近の動向について

平成23年9月10日(土)

林野庁木材産業課

木下 仁

木材産業の被害状況について

- 東日本大震災における木材加工・流通施設の被害は、112箇所、被害額約508億円に及んだ。
- 特に合板工場は被害が大きく、被害のあった岩手、宮城の合板工場の生産割合は全国の約3割と推計。

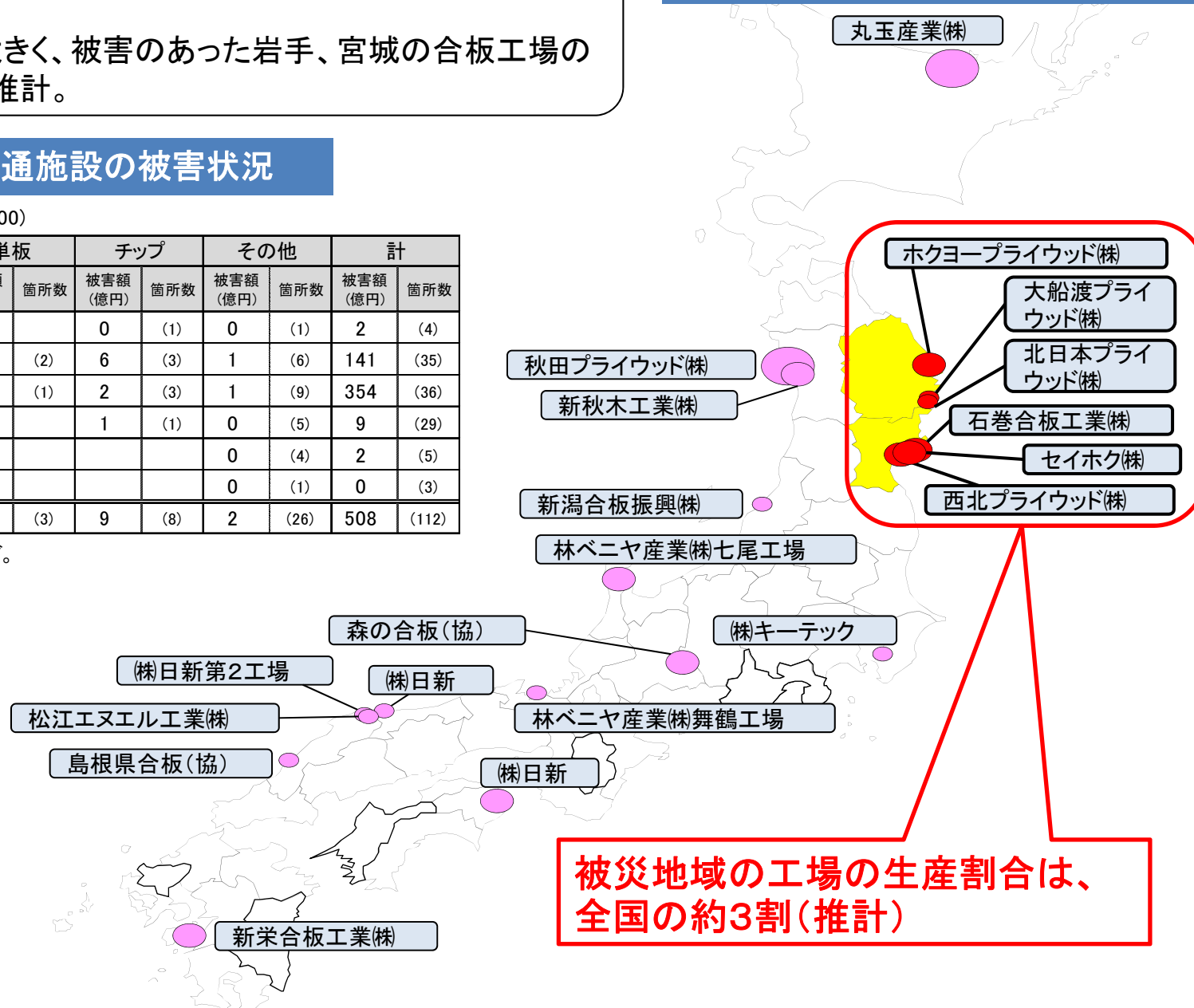
2 合板工場の配置と被害状況

1 震災に伴う木材加工・流通施設の被害状況

県別・業種別の被害額(平成23年8月15日 17:00)

区分	製材		合板		単板		チップ		その他		計	
	被害額 (億円)	箇所数	被害額 (億円)	箇所数	被害額 (億円)	箇所数	被害額 (億円)	箇所数	被害額 (億円)	箇所数	被害額 (億円)	箇所数
青森県	2	(2)					0	(1)	0	(1)	2	(4)
岩手県	18	(21)	58	(3)	58	(2)	6	(3)	1	(6)	141	(35)
宮城県	59	(20)	289	(3)	3	(1)	2	(3)	1	(9)	354	(36)
福島県	8	(23)					1	(1)	0	(5)	9	(29)
茨城県	2	(1)							0	(4)	2	(5)
その他	0	(2)							0	(1)	0	(3)
計	89	(69)	347	(6)	61	(3)	9	(8)	2	(26)	508	(112)

注) その他は集成材、防腐加工、流通施設など。



木材産業の復旧の状況について

- 平成23年度第1次補正予算においては、「木材供給等緊急対策」として、早期に稼働可能な木材加工流通施設等の廃棄・復旧・整備や原木流通に対して支援。
- 木材加工流通施設の復旧については11箇所が対象となっており、復旧資材の早期の供給開始に向け着実に施設の復旧等が進行中。8月22日現在、7箇所では製品の生産・出荷を開始。

■ 木材供給等緊急対策 (第1次補正)

- 1 木材加工流通施設等の廃棄・復旧・整備 (補助率1/2) (53億円)
早期に稼働開始可能な施設の廃棄・復旧・整備 等
- 2 間伐材等の流通コスト支援 (6億円)
 - ① 被災地等の原木の流通コスト支援 (補助率: 定額)
 - ② 港湾等に流出した木材の回収コスト支援 (補助率1/2)



(事業実施箇所一覧: 木材加工流通施設整備)

宮城県 (8箇所)

- 【合板】 石巻合板工業(株)
- * 【合板】 セイホク(株)
- * 【合板】 西北プライウッド(株)
- * 【製材】 (株)山大
- * 【製材】 (株)丸中材木店
- * 【製材】 山孝木材(株)
- 【製材】 丸平木材(株)
- 【製材】 (株)幸田屋商店

岩手県 (3箇所)

- * 【合板】 ホクヨープライウッド(株)
- * 【合板】 北星(株)
- 【製材】 (有)マルヒ製材

* : 8月22日現在、既に生産・出荷開始

(セイホク 震災後、合板初出荷の新聞記事)

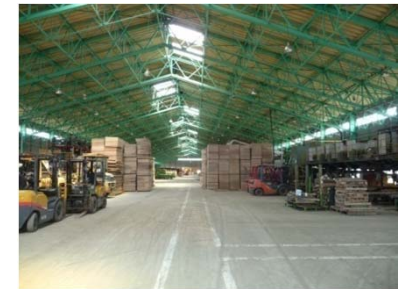


7 / 27 日刊木材新聞 8面

合板工場の建屋の復旧状況(石巻合板工業(株))



合板工場の内部の状況(西北プライウッド(株))



合板工場の内部の状況(ホクヨープライウッド(株))



東日本大震災による建物被害状況①

栗原市栗駒総合支所(宮城県栗原市 延床面積1,870㎡ 平屋建て)



当地域は、岩手・宮城内陸地震、東日本大震災の2度にわたり最高震度を記録したが無傷であった。2度とも災害対策本部として使用された。

石巻市北上総合支所(宮城県石巻市 延床面積2,413㎡ 地上2階)



体育館として使用された部分のRCの柱が基礎から破壊されている。2階建ての事務所として使用された木造部分は骨組みが残っている。

東日本大震災による建物被害状況②

南三陸町歌津公民館〈宮城県南三陸町 延床面積1,010.4㎡ 地上2階〉



15m以上の津波が襲った地域。周囲には何も残っていない中、当施設のみ。残存している。

(株)山大事務所棟、製材工場〈宮城県石巻市 延床面積218㎡ 地上2階〉



津波により、事務所棟の外壁が破損したが、構造体は被害はなかった。製材工場も内部は資材が散乱したが構造体は被害なかった。

東日本大震災による建物被害状況③

宮城県女川町(鉄筋コンクリート造)



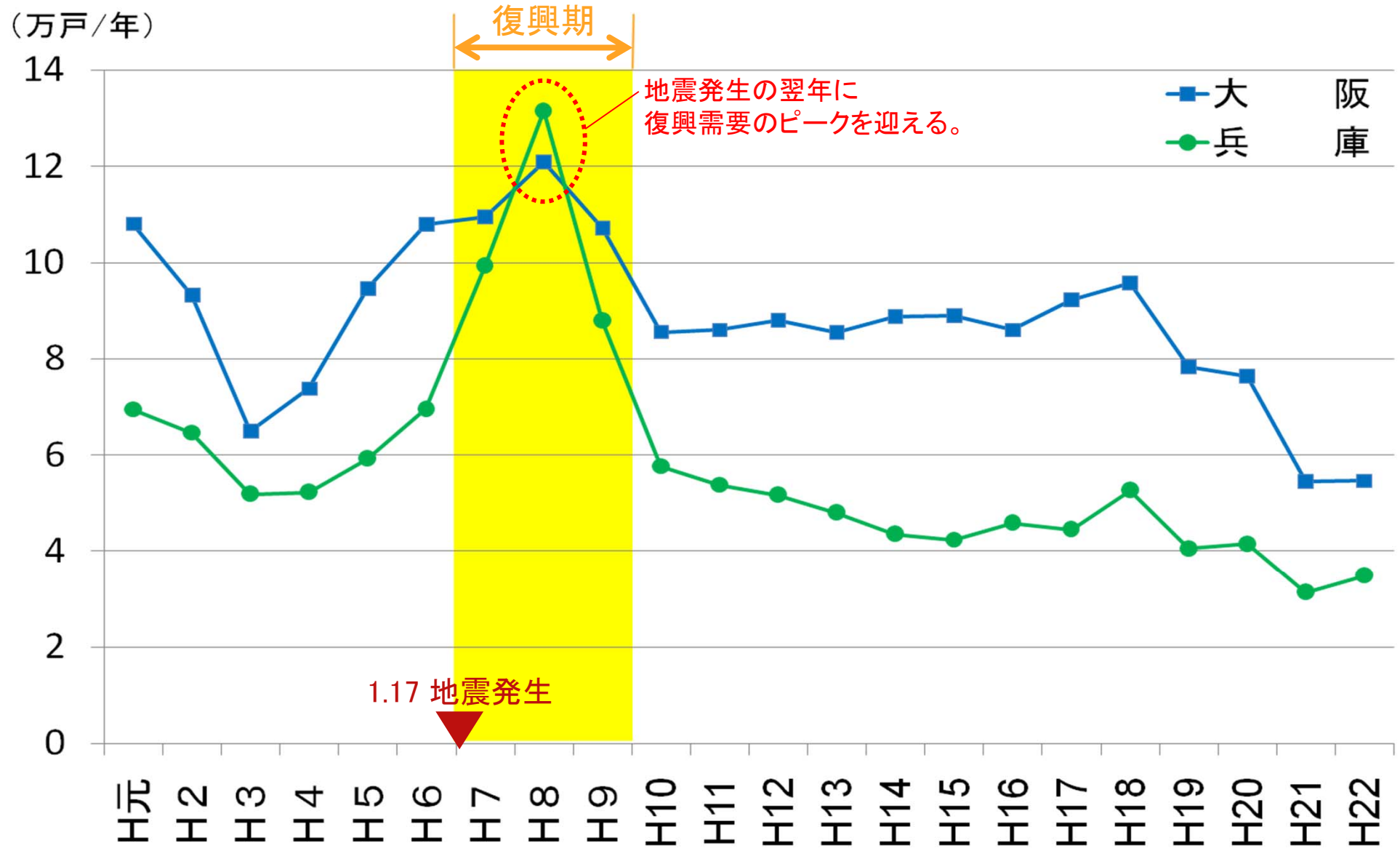
津波が襲った地域。鉄筋コンクリート造の建築物も基礎ごと倒壊している。

宮城県登米市(鉄筋コンクリート造)



津波の被害はなかったものの、震度6強を記録、地震の揺れ、地盤沈下等により被災。

阪神・淡路大震災前後の住宅着工戸数の推移



(国土交通省「住宅着工統計」をもとに林野庁作成)

ハウスメーカーによる東日本大震災への対応

- 一部ハウスメーカーでは、被災者向けの商品を販売
- 被災者向けの商品では、
 - ・耐震性、省エネルギー性への配慮
 - ・プランの規格化による工期短縮
 - ・環境、非常時への対応として太陽光発電パネルの設置
 - ・割引価格の設定
 等の対応が図られている。

東北地方太平洋沖地震の主要ハウスメーカー各社の復興支援住宅への対応一覧表

企業名称	商品の特徴	プラン数	販売価格	対象	販売期間
積水ハウス	鉄骨住宅震災復興支援プラン 「がんばろう東北」モデル 現状のシリーズの内プランを絞った企画型住宅	33プラン	-	-	-
大和ハウス工業	xevoK II ～絆～ 1. 非常時電源切替システムなど、ライフライン停止時の「安全・安心」の備えを標準装備 2. 制震パネルや太陽光発電システムなどを標準搭載した「安全・安心」の基本性能 3. 緊急時の避難動線など「安全・安心」に暮らせるプランニング	自由設計	3.3㎡当たり51.8万円(税込)より	罹災証明を取得した方	2011.6.24～
パナホーム	被災地向けにプラン限定・特別仕様とした平屋及び2階建ての企画型住宅 ソーラー発電システムやタイル外壁を標準仕様	30プラン	平屋65㎡タイプで1420万円(税込)より	-	2011.4～
トヨタホーム	鉄骨ユニット工法「シンセシリーズ」 1. 特別価格を設定 2. 当初2年間の金利を無利息とする「災害復興支援住宅ローン」を提供	24プラン	平屋67㎡タイプで1137万円(税込)より	罹災証明を取得した方	2011.6.10～
ミサワホーム	インターネット販売商品、木質系の戸建住宅商品(2階建て、3階建て、平屋建て)及び賃貸住宅商品	自由設計	未公表	罹災証明を取得した方	2011.5.6～
エス・バイ・エル	特別復興支援住宅	2階建て20プラン 平屋建て5プラン	平屋66.23㎡タイプで1002.7万円(税込)より	罹災証明を取得した方	2011.6.11～